

1. 録音を始める前に

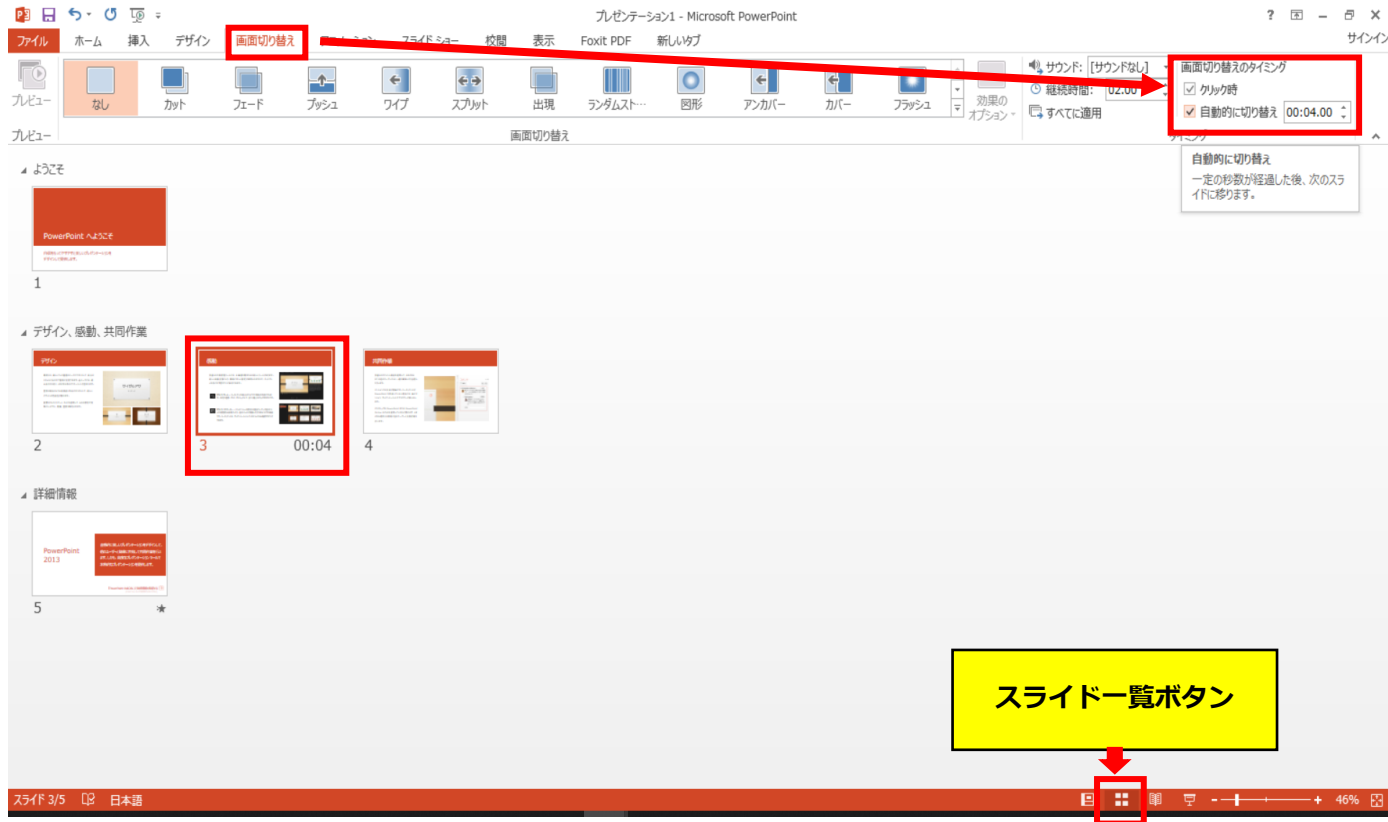
■ 画面の自動切り替えの解除（PowerPointの場合）

- ・録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。

秒数が入っている場合、

上部タブ【画面の切り替え】 → 【画面の切り替えのタイミング】 → 【自動的に切り替え】の☑を外してください。

※OS、バージョンによって異なりますので、ご注意ください。

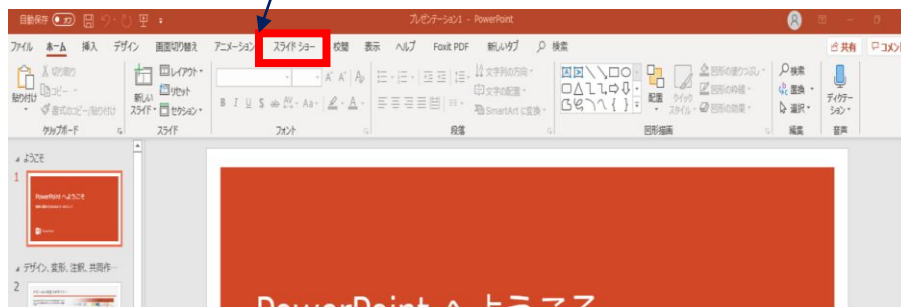


PowerPoint 2019
Microsoft 365
(Office365)
の場合

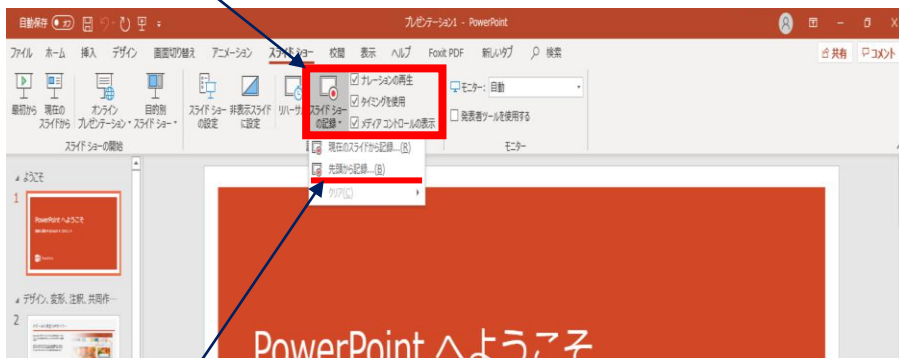
2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365) の場合

1. 画面上部の、【スライドショー】をクリックしてください。



2. 【スライドショーの記録】をクリックしてください。



3. 【先頭から記録】をクリックし記録画面に進んでください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

【先頭から録画】をクリックすると、録画スタンバイになります。準備が整いましたら、

4. 記録ボタン (①) を押し、録音を開始してください。スライドも任意のタイミングで進めてください (⑥)。



☆画面の説明

- | | |
|------------------|--|
| ① 記録ボタン | 録画を開始、一時停止 |
| ② 記録停止ボタン | 収録を停止します |
| ③ 再生ボタン | 録画した映像音声を確認できます |
| ④ 設定 | 接続したマイクが表示されます。
ヘッドセットを使用の場合、
ヘッドセットの機種名を選択してください。 |
| ⑤ PPT画面 | 表示されてる画面が録画されます |
| ⑥ 進む | 次のスライドに進みます。 |
| ⑦ 戻る | 録画を停止し、1枚目の戻りプレビューができます。
※録画時は、戻ることはできません |
| ⑧ カメラ、マイクのON.OFF | |

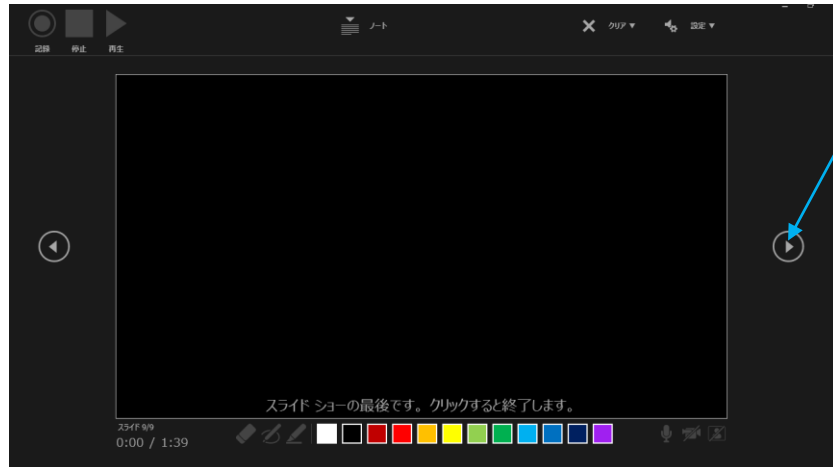
※マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して【レーザーポインターモード】をご使用ください。

注) スライドの送り、動画のクリックが出来ません、ご注意ください。

2. 動画作成手順

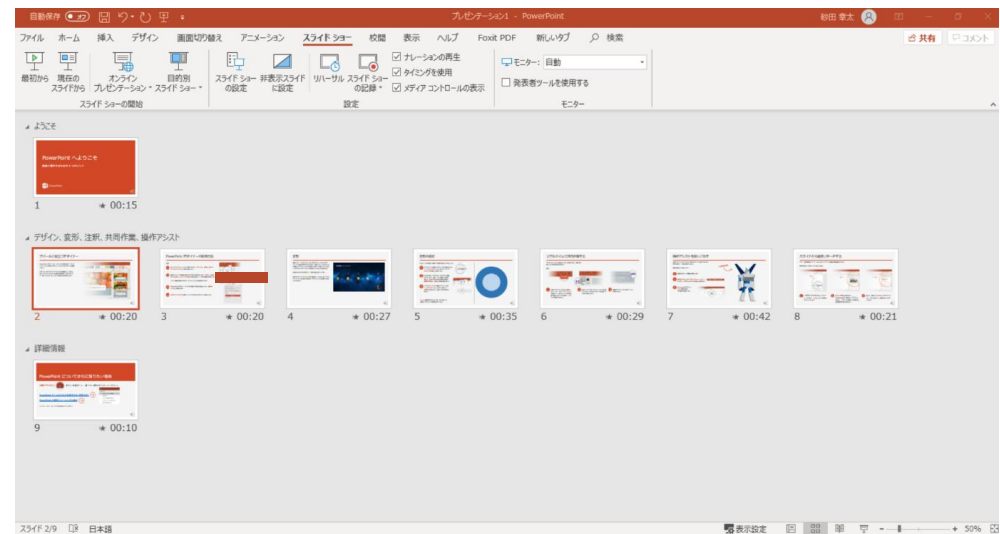
◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

5. 最後まで進めると自動的に録画が停止になります。



6. もう1枚進める

7. スライダー一覧画面（右側）に戻ります



8. PowerPointを保存してください。
ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。

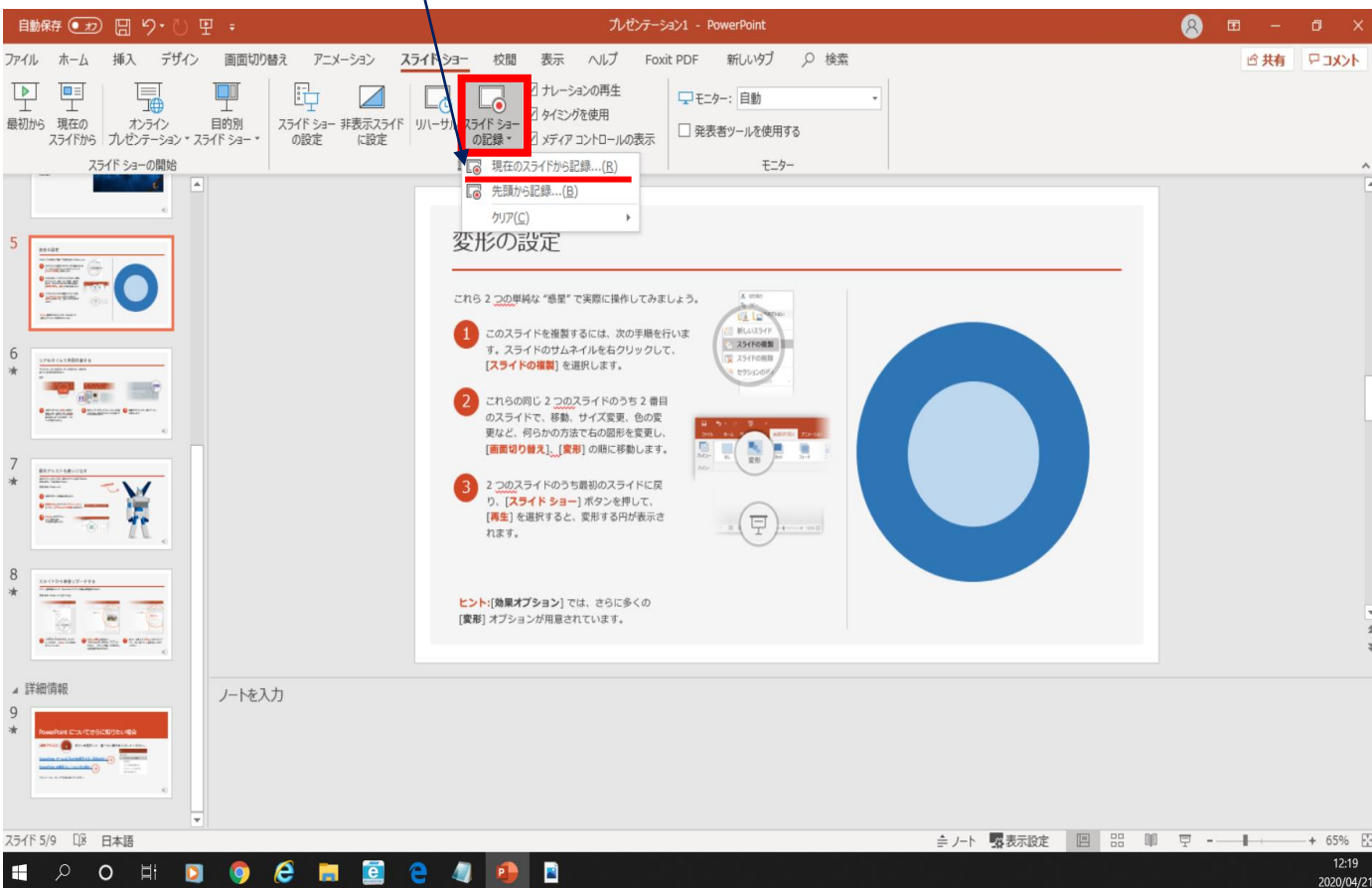
再度保存したファイル（音声付きスライド）を開き、スライドショーにて、
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

9. 修正を行いたい場合、該当のスライドを選択し、記録を行ってください。
その場合、【現在のスライドから記録】を選んでください。

※記録が終了したら、停止ボタンを押してください。



2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2019、Microsoft 365 (Office365)の場合

10. 動画への変換作業 (続き)

④ファイルを任意の場所に保存してください。

✓ ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。

✓ 拡張子が.mp4 になっていることをご確認ください。

✓ ファイルサイズは1GB以下としてください。

(動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです)



【保存】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。
終了するまでお待ちください。



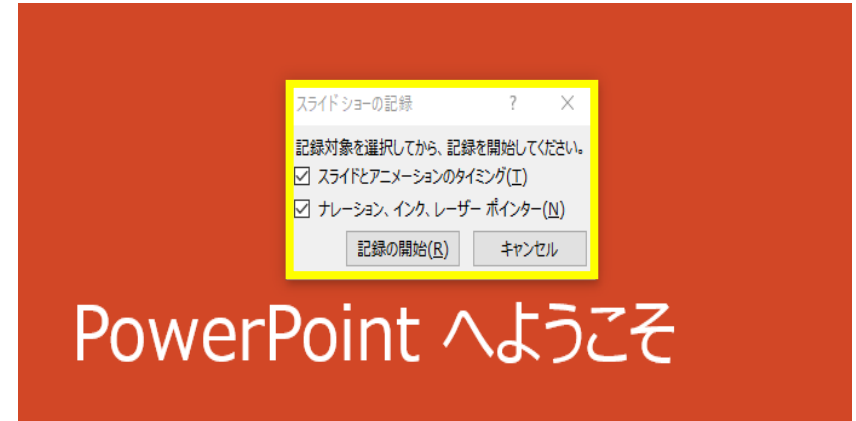
**完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、
再生ができるか等 必ずご確認ください**

PowerPoint2013 PowerPoint2010 の場合

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

4. ①【スライドショーとアニメーションのタイミング】
【ナレーションとレーザーポインター】
上記のチェックが入っていることを確認し、
【記録の開始】を押して、録音を開始してください



- ②録音中は、スライド左上に【記録中】と表記されます。
記録中となっている事を確認してください。

※マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して
【レーザーポインターモード】をご使用ください。

注) スライドの送り、動画のクリックが出来ません、ご注意ください。

5. 録音が終了したら、PowerPointを保存してください。
ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。

再度保存したファイル（音声付きスライド）を開き、スライドショーにて、
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

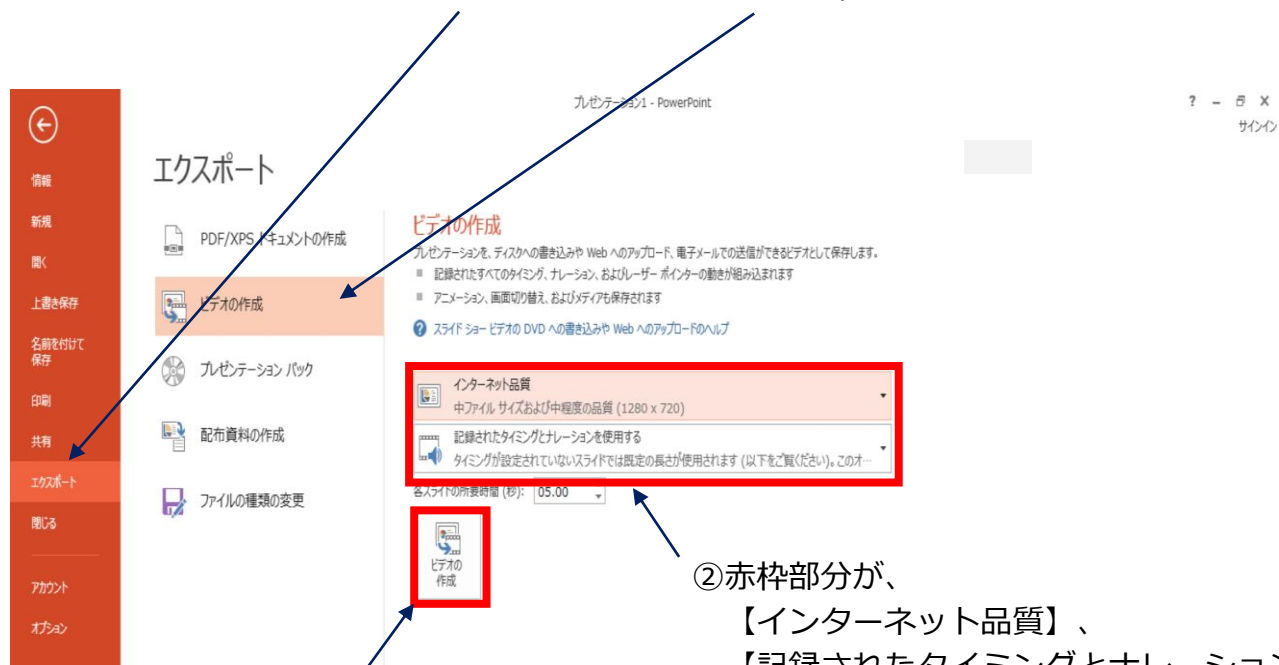


2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

6. 動画への変換作業 ◆ PowerPoint 2013の場合 ◆

①上部タブの【ファイル】→【エクスポート】→【ビデオを作成】の順に進んでください。



②赤枠部分が、
【インターネット品質】、
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
になっている事を確認してください。
表記が違う場合、項目横の「▼」で該当項目を選んでください。

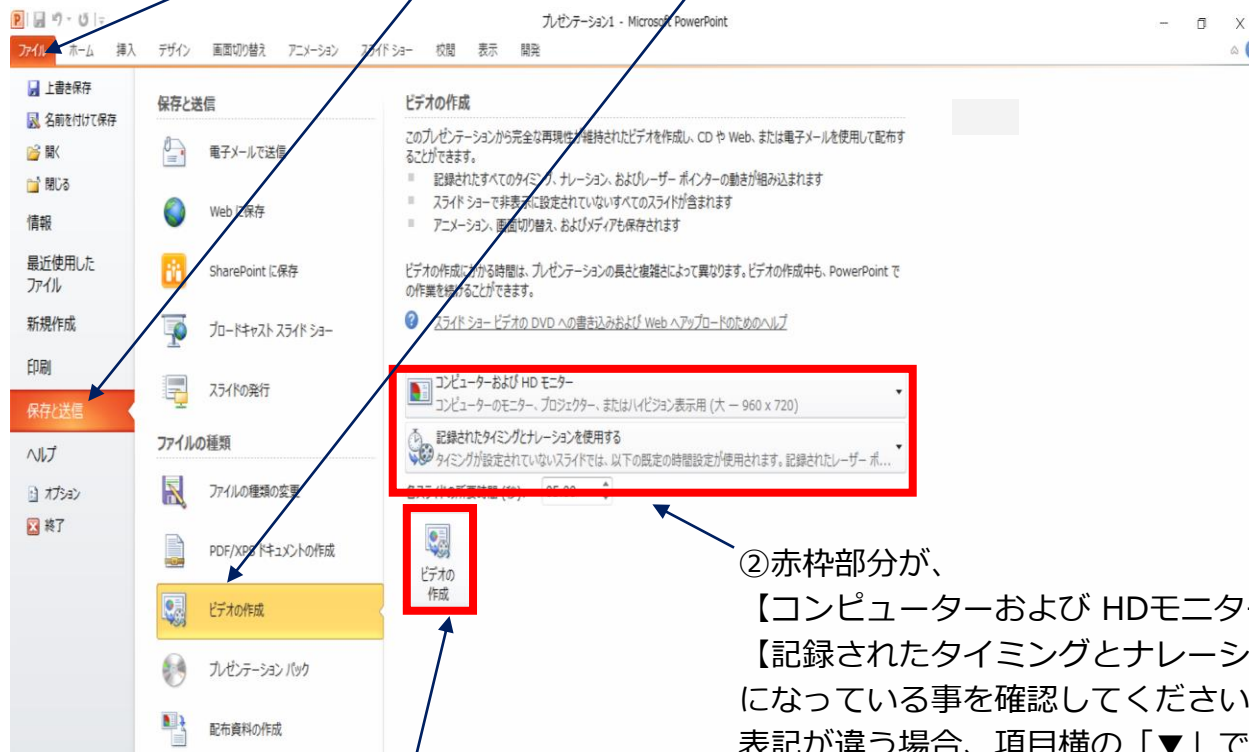
③確認後、【ビデオの作成】を押してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

6. 動画への変換作業 ◆ PowerPoint 2010 の場合 ◆

①上部タブの【ファイル】→【保存と送信】→【ビデオを作成】に進んでください。



②赤枠部分が、
【コンピューターおよび HDモニター】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
になっている事を確認してください。
表記が違う場合、項目横の「▼」で該当項目を選んでください。

③確認後、【ビデオの作成】を押してください。

2. 動画作成手順

◆ PowerPoint 2013・2010 の場合

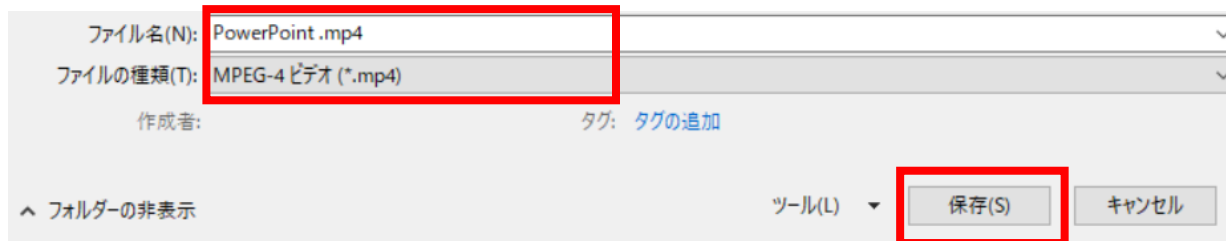
7. ファイルを任意の場所に保存してください。

✓ ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。

✓ ファイルサイズは1GB以下としてください。
(動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです)

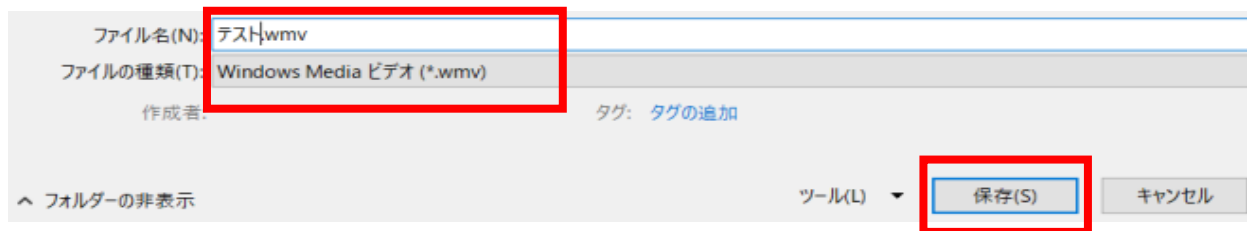
※ PowerPoint 2013の場合

✓ MPEG-4 ビデオを選択、保存し、拡張子が.mp4 になっていることをご確認ください。



※ PowerPoint 2010の場合

✓ Windows Mediaビデオを選択、保存し、拡張子が.wmv になっていることをご確認ください。



【保存】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。
終了するまでお待ちください。



完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください

PowerPoint Mac の場合

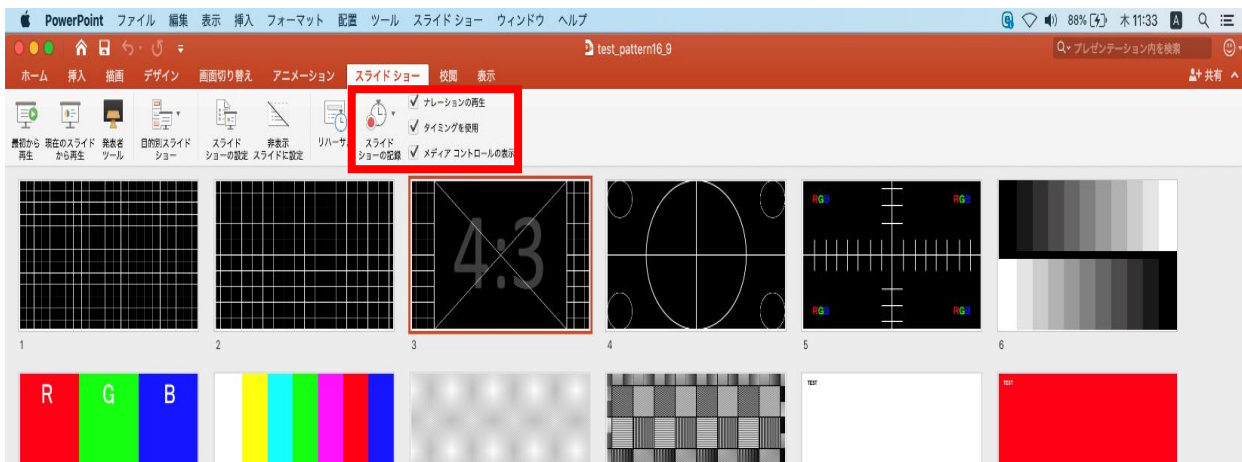
注記

- PowerPoint 2016 for Macは、動画変換・保存をサポートしていません。
2016 for Macをご利用の場合は、Keynoteで開いて動画変換いただくか、その他のバージョンのPowerPoint（2011、2019又はOffice365）で変換作業ください。
- マウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

2. 動画作成手順

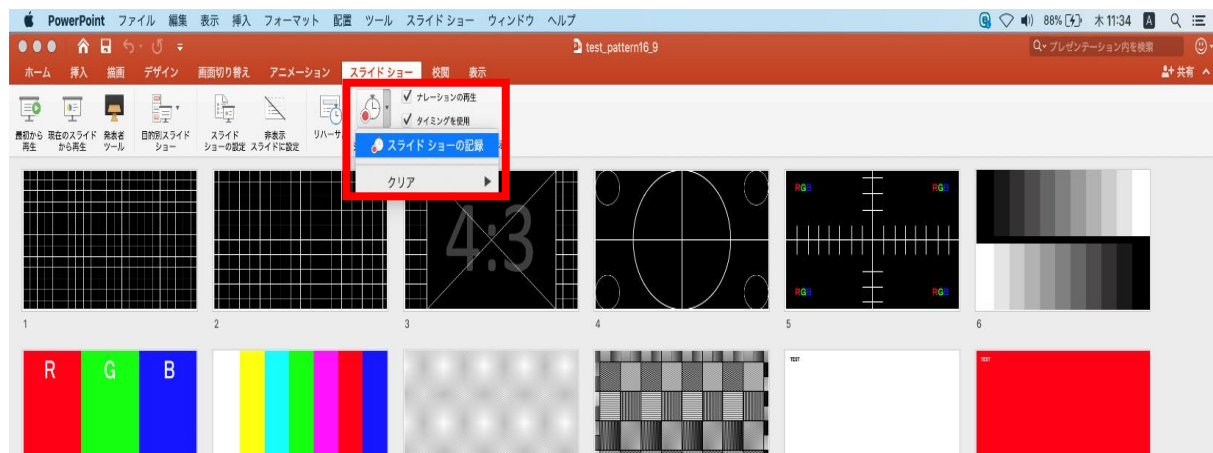
◆ PowerPoint Mac の場合

1. 画面上部の、【スライドショー】を選択し、
【ナレーションの再生】
【タイミングの使用】
のチェックが入っていることを確認ください

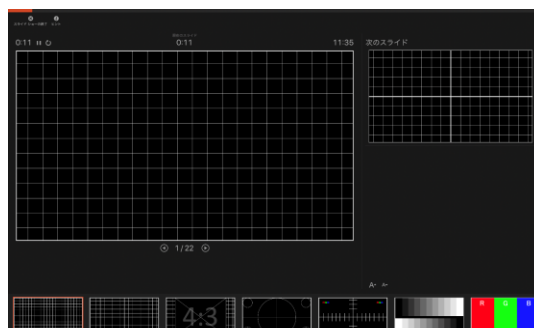


2. 【スライドショーの記録の開始】
を押し、録音を開始してください。

※選択されたスライドから記録が開始されます。
1枚目を選択した状態で記録の開始を行ってください。



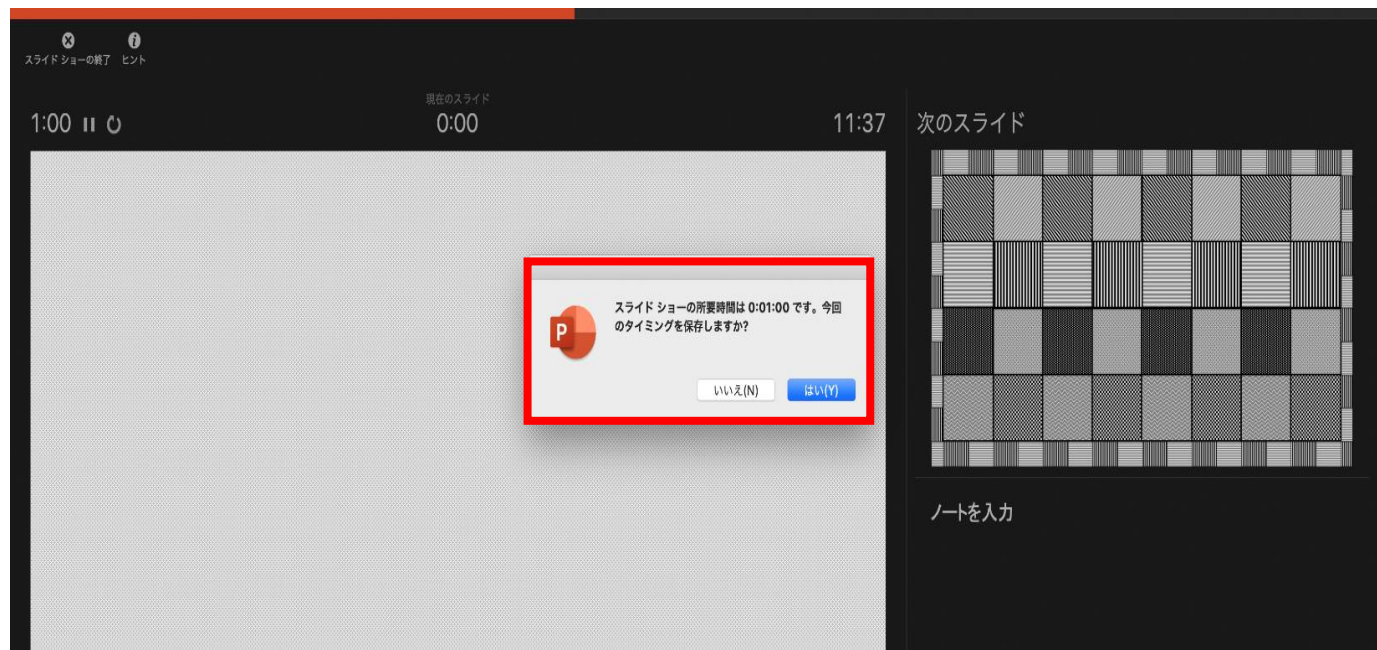
- ※【スライドショーの記録の開始】
を押すと記録が開始されます。



2. 動画作成手順

◆ PowerPoint Mac の場合

3. スライドショーを終了すると、
【タイミングの保存】のポップアップが表示されます。
【はい】 を押し保存してください。

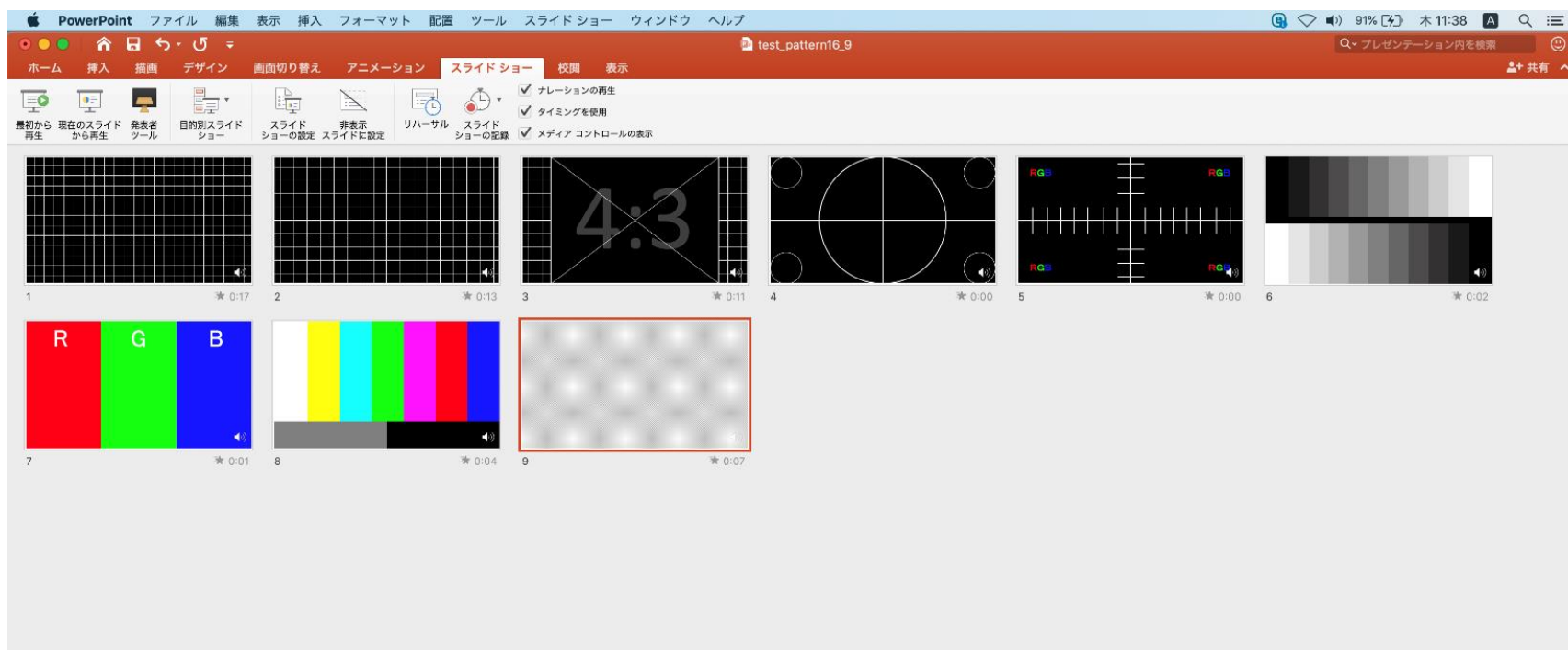


2. 動画作成手順

◆ PowerPoint Mac の場合

- 録音が終了したら、PowerPointを保存してください。
ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。

再度保存したファイル（音声付きスライド）を開き、スライドショーにて、
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

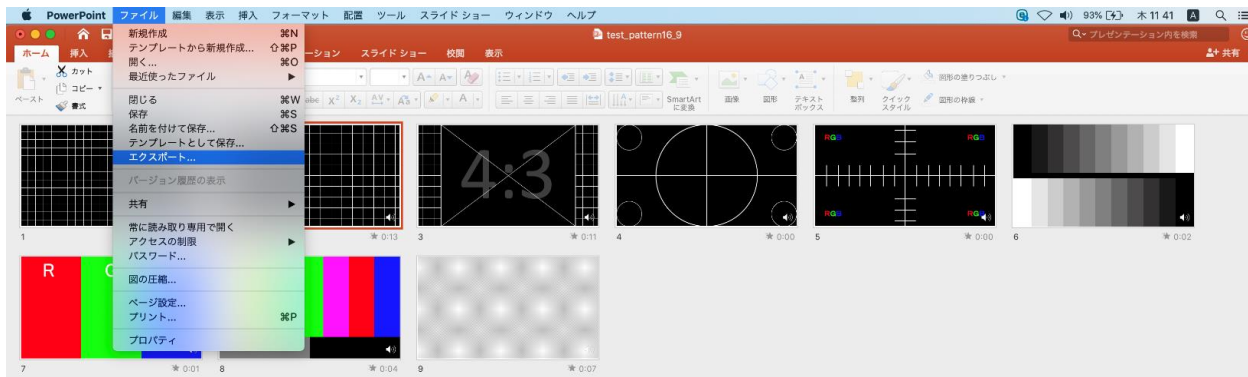


2. 動画作成手順

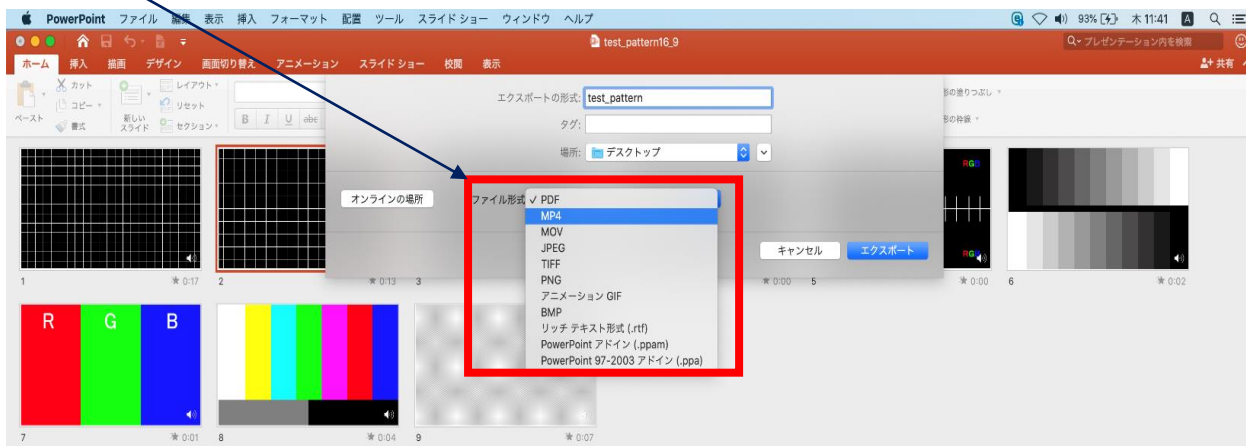
◆ PowerPoint Mac の場合

5. 動画への変換作業

①上部タブの【ファイル】→【エクスポート】を選択してください。



②【ファイル形式】を【MP4】に変更します。



2. 動画作成手順

◆ PowerPoint Mac の場合

5. 動画への変換作業（続き）

③ファイルを任意の場所に保存してください。

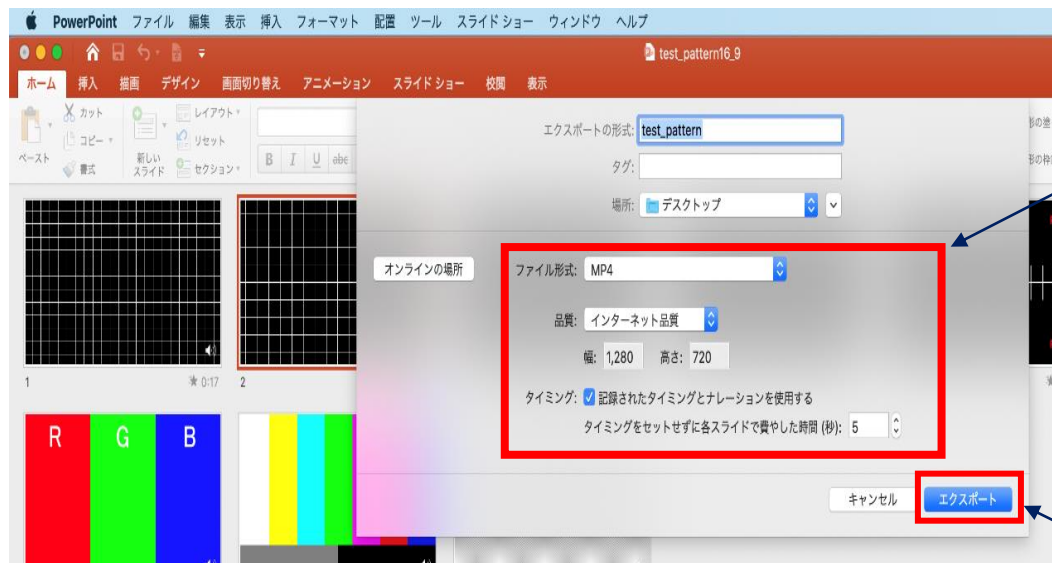
ファイル名（=【エクスポートの形式】）は「**演題番号_演者名**」としてください。



2. 動画作成手順

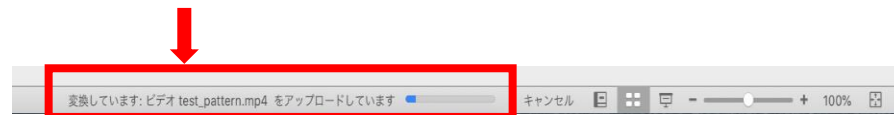
◆ PowerPoint Mac の場合

5. 動画への変換作業（続き）



④赤枠部分が、
【インターネット品質】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
にチェックが入っている事を確認してください。
表記が違う場合、項目横の▼で該当項目を選んでください。

⑤確認後、【エクスポート】を押してください。
【エクスポート】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。
終了するまでお待ちください。



✓ ファイルサイズは1GB以下としてください。
(動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです)

**完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、
再生ができるか等 必ずご確認ください**

Keynoteの場合

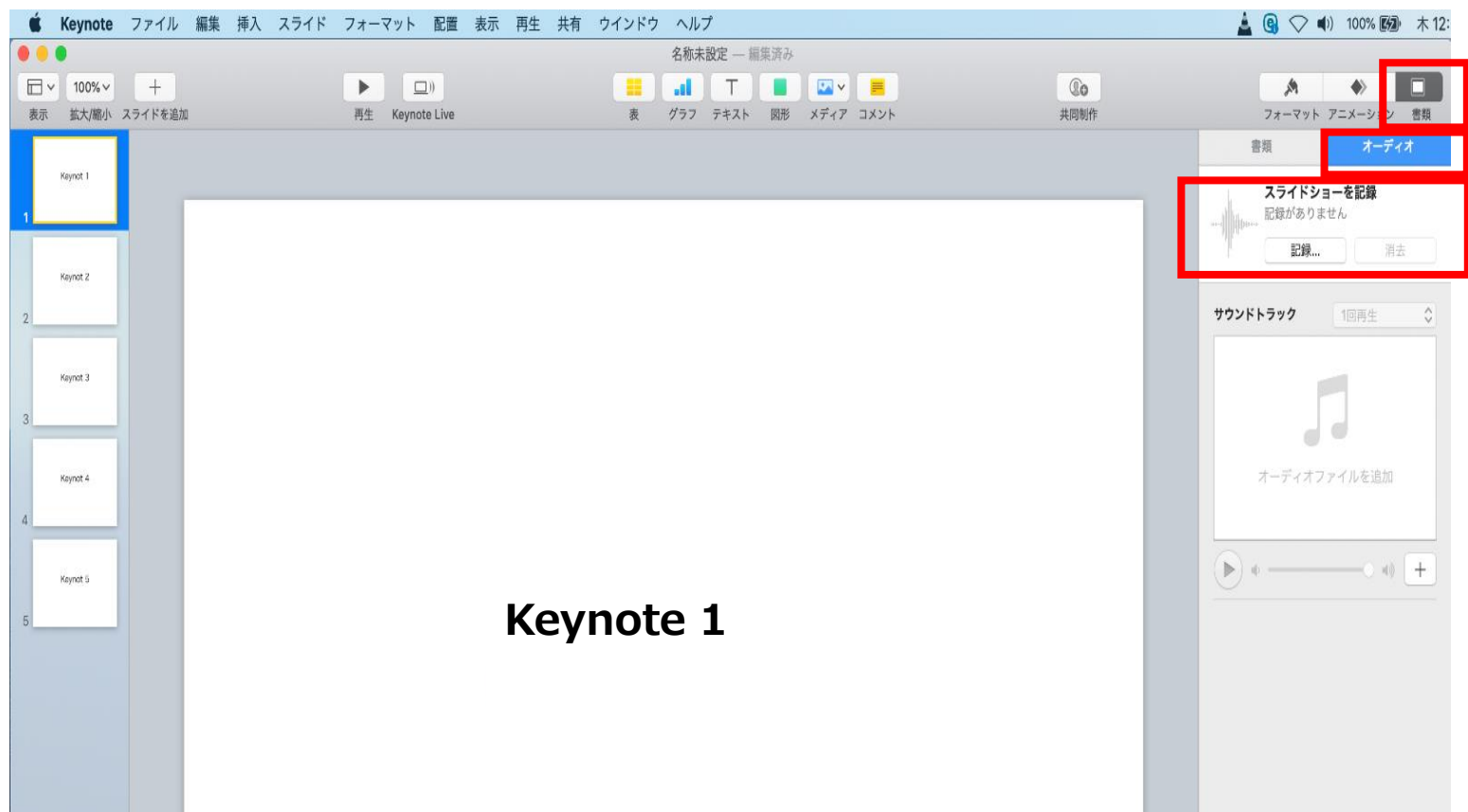
注記 (06.11追記)

- ・マウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

1. 画面右上部の、【書籍】→【オーディオ】を選択し、【スライドショーを記録】をクリックしてください。



2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

2. 【スライドショーを記録】をクリックすると、録音画面が表示されます。



画面下の録画ボタン●を押して、録音を開始してください。

2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

3. 録音が終わりましたら、画面下の録画ボタン●をもう1度押してください。録音が停止されます。

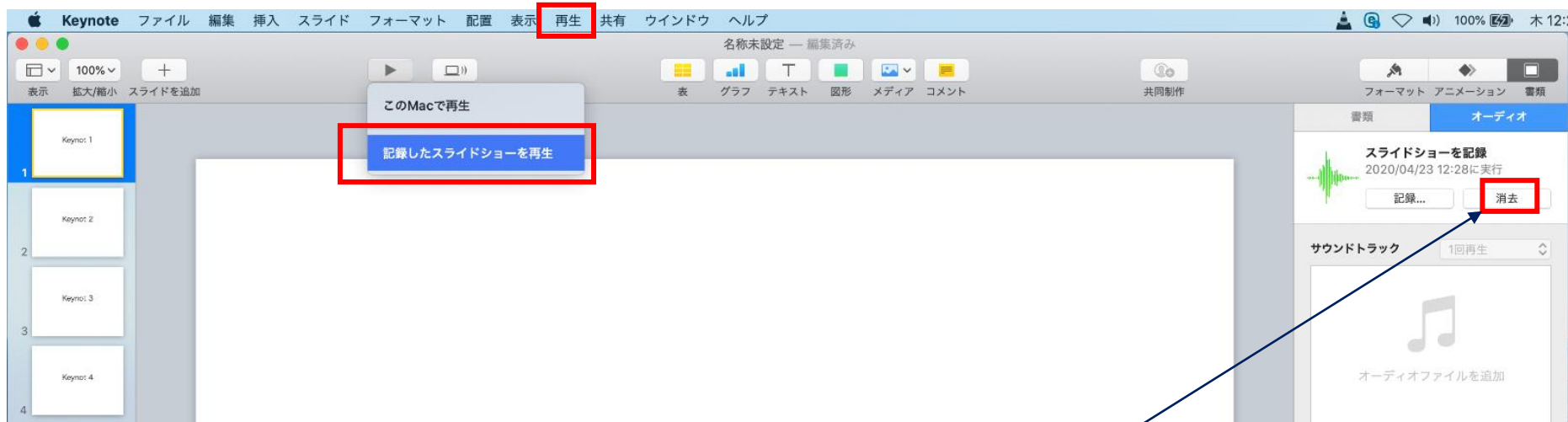


2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

- 録音が終了しましたら、keynote を保存してください。
ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。

再度保存したファイル（音声付きスライド）を開き、【再生】→【記録したスライドショーを再生】で
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。



撮り直しをしたい場合、【消去】をクリックして、再度録音してください

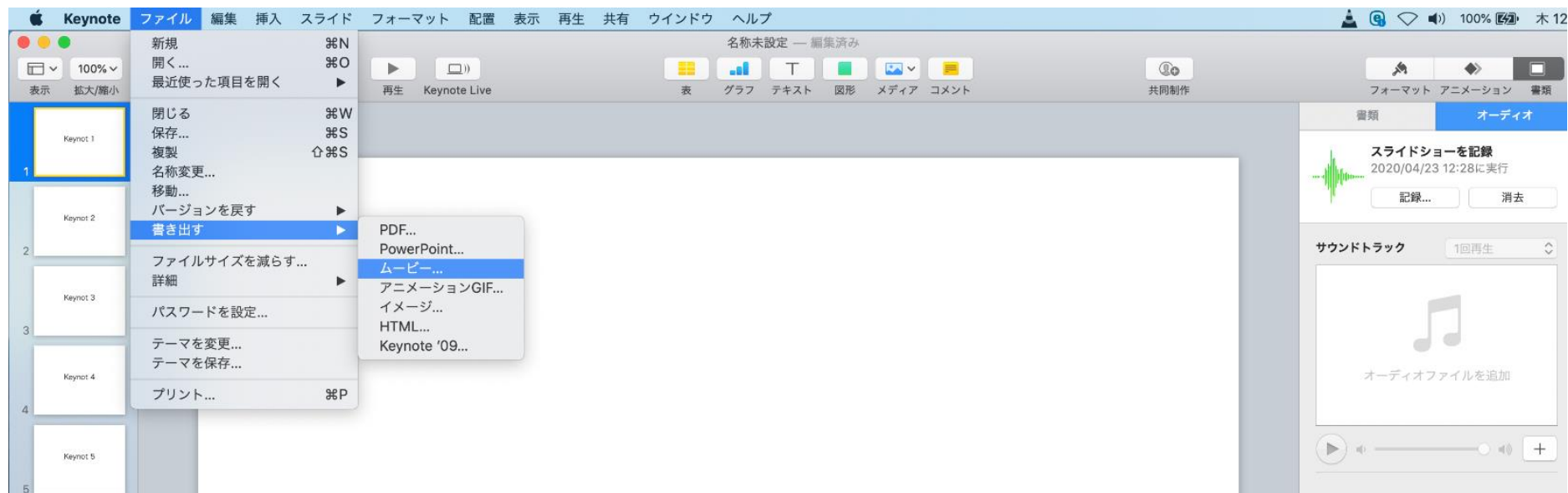
2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業

①上部タブの【ファイル】→【書き出す】→【ムービー】を選択してください。

※バージョンによって表記が違う場合があります。



2. 動画作成手順

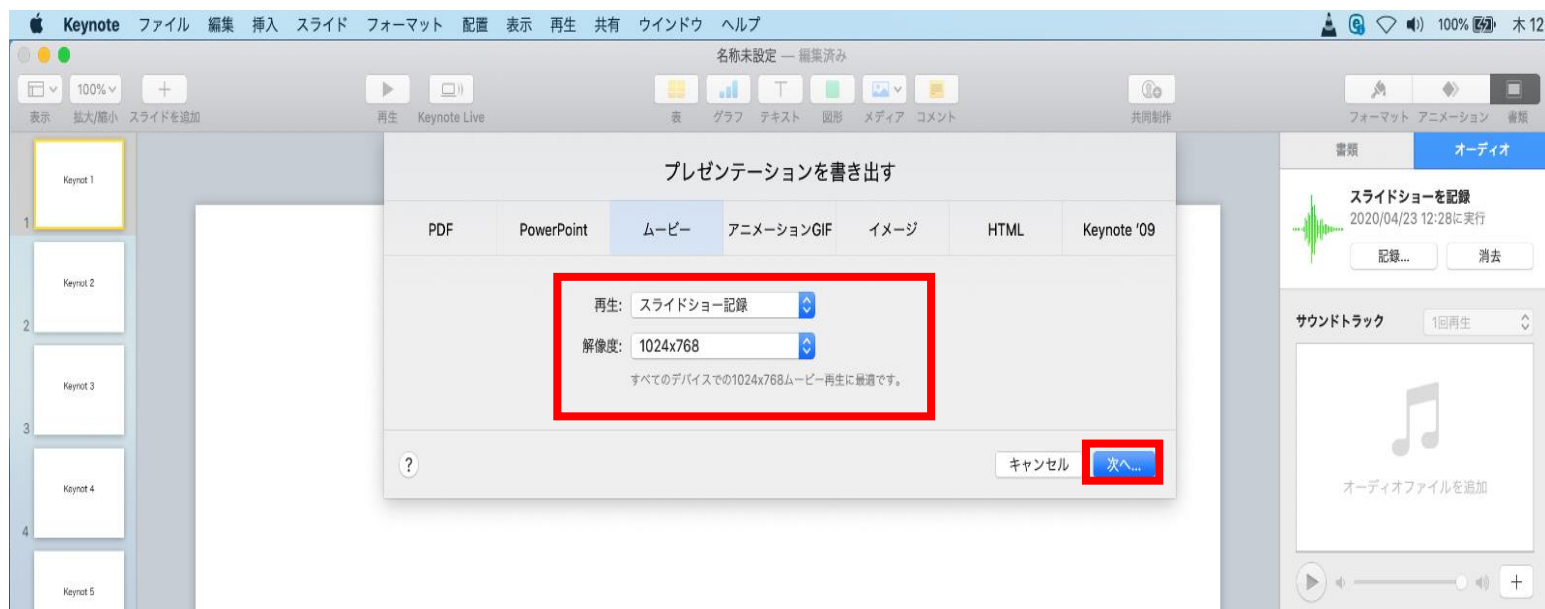
◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業（続き）

②再生：【スライドショーの記録】

解像度：4:3の場合【1024×768】 16:9の場合【720P】

を選択し、【次へ】進んでください。



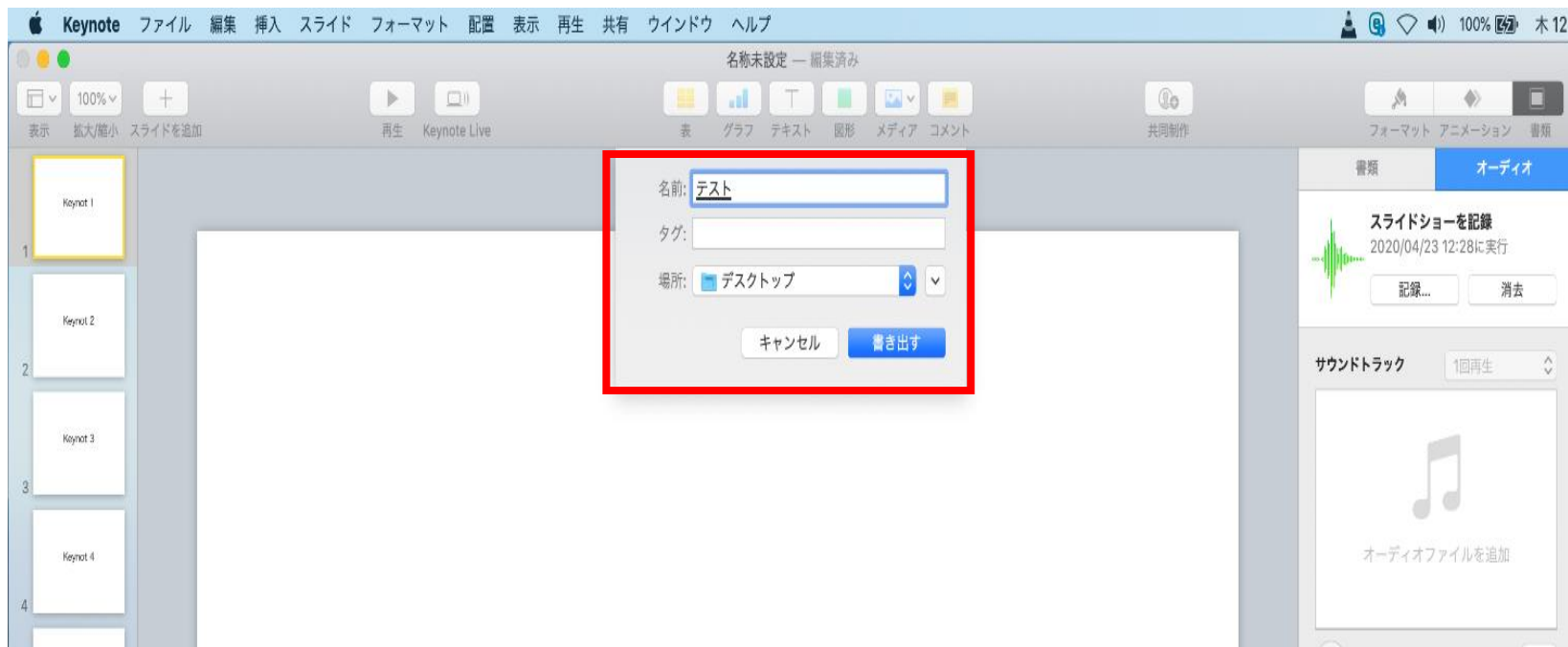
2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業（続き）

③ファイルを任意の場所に書き出してください。

ファイル名（=【名前】）は「**演題番号_演者名**」としてください。

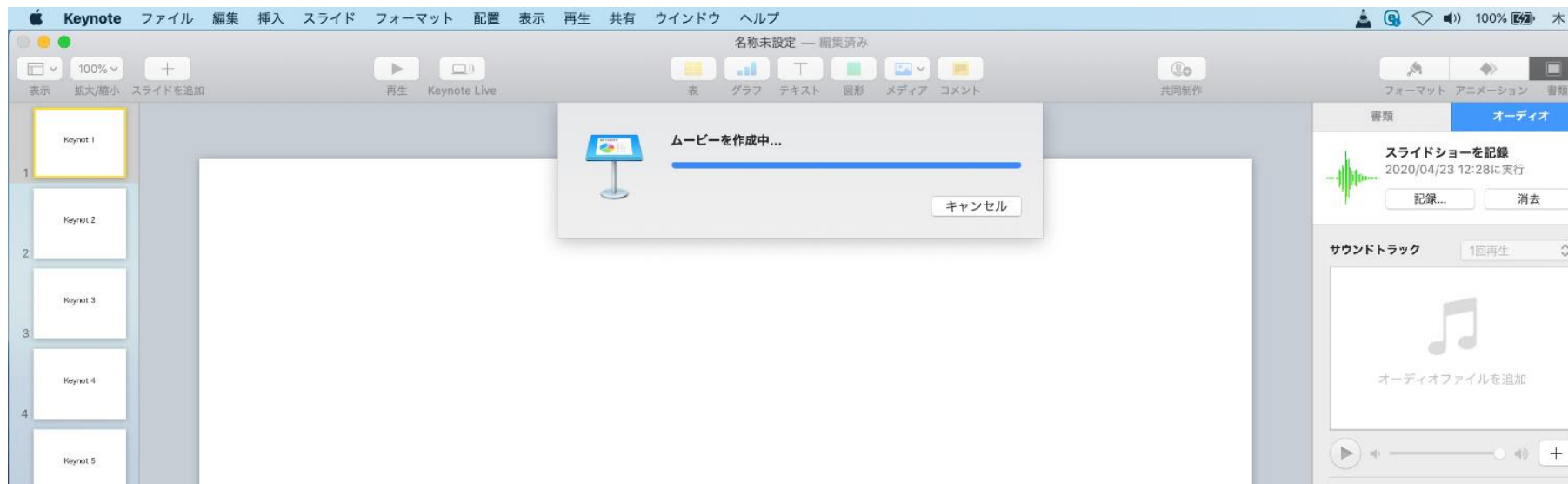


2. 動画作成手順

◆ Keynote の場合

5. 動画への変換作業（続き）

④ムービーの作成が、終了するまでお待ちください。



- ✓ ファイルサイズは1GB以下としてください。
(動画登録アップロード時の上限サイズは1GBです)

完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください